まなびのコース

きほんの講座　①－1　定員 50 名

◆カレッジデビュー講座

主　題　まなびのコース１年生向けのおすすめ講座です。歴史、文化や音楽など…それぞれの分野で活躍されている方を講師にお迎えし、オムニバス形式でお届けします。これまで苦手意識を持っていたり、触れるチャンスのなかった分野に接する良い機会です。ご自身の新たな一面を発見してみませんか？

講座番号　①－1

時　間：午後６時30分～８時
場　所：築地社会教育会館
回　数：５回
受講料：1,500円

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	9/11（金）	講義と講談で学ぶ“智恵伊豆”松平信綱	宮瀧　交二 ゲスト：神田　山吹
第２回	9/25（金）	浮世絵を彩った橋	紅林　章央
第３回	10/23（金）	深海の魅力、そして深海探査の魅力	野牧　秀隆
第４回	10/30（金）	郵便発祥の地で学ぶ！郵便の歴史	藤本　栄助
第５回	12/18（金）	イングリッシュハンドベル　レクチャー付きコンサート	吉野　恵蔵 演奏：リングアンサンブル・ラッキーチューン

講師紹介

宮瀧　交二（みやたき　こうじ）

大東文化大学 文学部 歴史文化学科 教授／博士（学術）。1961 年生まれ、65 歳。神奈川県茅ヶ崎市に育ち、近所の桑田佳祐君とドッジボールで遊ぶ。専門は、日本史（日本古代史、観光歴史学）・博物館学・埼玉県の歴史。

神田　山吹（かんだ　やまぶき）

講談師。２代目神田山陽門下。2006 年、真打。「あなたの隣の講談師」をモットーに、親しみやすい講談を志す。宮瀧教授が書き下ろした新作講談の初演に協力。

紅林　章央（くればやし　あきお）

東京都道路整備保全公社　道路部　多摩橋梁担当課長。元東京都橋梁構造専門課長。多摩大橋をはじめ多くの橋や新交通「ゆりかもめ」、山手トンネルの建設に携わる。著書に『東京の橋 100 選＋ 100』、『HERO』、『浮世絵を彩った橋』他。『橋を透して見た風景』、『東京の美しいドボク鑑賞術』で土木学会出版文化賞を受賞。

野牧　秀隆（のまき　ひでたか）

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）　生命地球科学研究部門　海洋生命圏研究プログラム　プログラム長／上席研究員。1978 年長野県生まれ。2005 年東京大学大学院博士課程修了。2006 年より海洋研究開発機構勤務。これまでに 80 回以上の深海研究航海に参加し、800 日以上を洋上で過ごす。「しんかい 6500」でインド洋や太平洋の深海に潜り、深海生物、環境汚染、地震の影響調査などを行う。

藤本　栄助（ふじもと　えいすけ）

公益財団法人通信文化協会参与。京都大学大学院法学研究科中退。旧郵政省入省、日本郵政公社理事、日本郵政㈱専務執行役、日本郵便㈱取締役副社長等を経て、郵政博物館長、郵便史研究会会員。2026 年より現職。郵便事業の特性、幕末・維新期の貨幣史等を研究。「郵便事業 - その物数と構造 -(1) ～ (3)」、「『特定郵便局』及び「『特定郵便局長』の『呼称』について ～その起源と消滅～」（以上、『郵政博物館研究紀要』）、「『会計』で見る戦後の郵便事業 (1) ～ (3)」、「竜切手『銭四十八文』再考 (1) ～ (7)」（以上、『郵便史研究』）等、論文多数。

吉野　恵蔵（よしの　けいぞう）

全日本イングリッシュハンドベル愛好会名誉会員。エコーハンドベルリンガーズ、チェンバーリンギング・ソロイスツを経てハンドベルアンサンブル東京（TOKIO）に参加。ウィーンフィルの第一奏者達をはじめ、国内の有名奏者とも多数共演。海外公演など豊富な演奏経験、指導経験を基に、イングリッシュハンドベルの普及と発展に力を注ぐ。その指導力は各所で高く評価されており、多くの団体が同氏の薫陶を受けている。指揮を大澤健一氏に師事。

リングアンサンブル・ラッキーチューン

2016 年始動。吉野恵蔵のもと、各地より愛好家が東京に集まり、ハンドベルの普及、クラシック、映画音楽等、幅広く音楽性豊かな高みを臨む演奏団体を目指し活動中。

きほんの講座　①－2　定員50名

託児付

◆金原亭馬生の言葉遊び「雑俳」

主　題　江戸中期、俳句や川柳など、庶民が夢中になった文芸活動の一つに雑排（ざっぱい）があります。これは、松尾芭蕉が生み出した詩情のある「蕉風俳諧」とは異なり、川柳に多数のルールを付けたような言葉遊びの総称です。イギリスにおけるウイットのように、日本では回文や洒落など、機知に富んだ「雑排」という当意即妙な言葉遊びが人々の交流の潤滑油でした。本講座では、雑俳のいくつかをご紹介し、みなさんと作り、講評をおこないます。江戸から続く、日本の豊かな言葉の魅力を楽しんでください。

※毎回、作品作りが宿題として出されます
※落語も実演いたします

講座番号　①－2

時　間：午後2時～4時
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/24（木）	はじめに：提出作品の振り返りと講評会 途中に　：本日の雑排の解説と宿題の説明 おわりに：ゆかりの深い落語	金原亭 馬生
第2回	10/ 7（水）		
第3回	11/ 5（木）		金原亭 馬生 金原亭 馬太郎

講師紹介

十一代目 金原亭 馬生（きんげんてい ばしょう）

落語家、（一社）落語協会常任理事。1947年中央区銀座木挽町生まれ。1969年3月に十代目金原亭馬生に入門し、同年9月に小駒を名乗り人形町末廣にて初高座。1987年に真打へ昇進し、1999年9月で名跡・十一代目金原亭馬生を襲名。所属は落語協会で2014年より理事、2024年より現職。古典落語から新作落語、日本舞踊、俳句、小唄など幅広い芸域を持ち、芝居噺といった噺ができる数少ない噺家の一人。また、江戸時代から明治まで盛んに興行されていた噺家が演じるお芝居「鹿芝居」を現代に復活させた立役者である。

講師　十一代目　金原亭馬生

共演者紹介

金原亭 馬太郎（きんげんてい うまたろう）

落語家二ツ目（一般社団法人 落語協会所属）。十一代目金原亭馬生に入門。古典落語及び邦楽や日本舞踊など幅広い芸能を丹精している。

金原亭馬太郎

きほんの講座　①－3　定員24名

託児付

◆中央区、江戸から探ってみませんか

現在の中央区のほとんどは、それまでの、江戸の原形の姿を改良した徳川家康の街つくりによるもの。さらには地形を整えただけでなく、どうすれば発展する街となるのか、そこには伊勢商人、近江商人たちの商いへの思いが大きく関り、どのように商いを始めて行くのか、また集まる商家にも自ずと守るべき事があり、さらには次の時代へ渡さねばならない厳しい掟、のれんがあります。

講座番号　①－3

時　間：午後2時～3時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：4回
受講料：1,200円

人々を豊かに確かなものとする為に用いた商いとは、商人の活躍によるものを元禄時代から伝わる長谷川南家の日々刻まれた帳簿を実際にお手に取って頂き当時の紙質の風合い、江戸の先人たちの心に触れながら探ってみましょう。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/25（金）	徳川家康が形造った江戸、そしてその町とは	長谷川　隆
第2回	10/ 9（金）	江戸と中央区、変わる事、変わらないもの	
第3回	10/23（金）	伊勢、近江、多くの商人たち	
第4回	11/ 6（金）	中央区の街角で見かける江戸とは	

講師紹介

長谷川　隆（はせがわ　たかし）

1635年（寛永12年）現在の三重県松阪から日本橋で創業、長谷川南家末裔。学芸員。学習院大学卒業後、店掟により一族とはいえ、伊勢・松阪商人が親縁の近江商人・塚本家（塚本商事・現ツカモト・コーポレーション）にて行儀見習、丁稚奉公を、という、まずあり得ない貴重な機会から、お得意先、お取引先と、また多くの大変に著名な方々、着物ファッション・デザイナーの方々とも通じ商いのことはもちろんのこと、人の心の動きを、機微の細やかさを実際の体験から3G（現場・現物・現実）に則して、江戸時代の移り変わりから語る。これまでの講座でも「学術と共に学芸として楽しむ」講座として定評。専攻は、認知商人学。創建・749年（天平21年）、松阪・清光寺（重要文化財・阿弥陀三尊を有する）研究員でもある。

東都大伝馬街繁栄之図（国立国会図書館）

きほんの講座　①－4　定員 30 名

託児付

◆街歩き楽しみ隊

（10/2、10/30、11/27、12/11を除く）

主　題　中央区を知り尽くしたまち案内のボランティアが、中央区の魅力をご紹介いたします。講義の回には、そのテーマの専門の先生方にお話を伺い、その次の回には、講義に関連した地域のまち歩きを楽しみます。あなたもすっかり中央区通になること間違いなし！

【ご受講に際して】講座スケジュール（日程と時間）にご注意ください

企画・運営協力：中央区文化財サポーター協会

講座番号　①－4

時　間：午後2時～4時
※第8回(12/11)は午後4時30分から6時30分

場　所：築地社会教育会館ほか
※第2回、4回、6回、8回はまち歩き

回　数：8回
※第5回(11/19)は木曜日

受講料：2,400円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/25（金）	江戸の刑罰と治安対策	和仁　かや
第2回	10/ 2（金）	【まち歩き】　伝馬町牢屋敷～北町奉行所	文化財サポーター
第3回	10/23（金）	海軍創設と築地	金澤　裕之
第4回	10/30（金）	【まち歩き】　築地	文化財サポーター
第5回	11/19（木）	江戸幕府による社会基盤整備 ～『徳川実紀』の記述を手がかりに～	西山　孝樹
第6回	11/27（金）	【まち歩き】　京橋から八丁堀	文化財サポーター
第7回	12/ 4（金）	近代レトロ建築～銀座編～	松本　裕介
第8回	12/11（金）	【まち歩き】　銀座イルミネーション ※午後４時 30 分から	文化財サポーター

講師紹介

和仁　かや（わに　かや）

早稲田大学法学学術院教授。専門は近世日本法制史。東京大学法学部、同大学院から神戸学院大学、九州大学准教授などを経て、2018 年９月より現職。著書に『江戸の刑事司法 ―「御仕置例類集」を読みとく―』（筑摩書房）、共著に『幕藩制国家の政治構造』（吉川弘文館）、『近世法の再検討』（山川出版社）などがある。

金澤　裕之（かなざわ　ひろゆき）

防衛大学校防衛学教育学群教授。慶應義塾大学文学部、同大大学院で日本史を専攻したのち海上自衛隊へ入隊。機動施設隊隊長、防衛研究所戦史研究センター所員、海上幕僚監部基地対策班先任班員などを経て現職。北海道江差町教育委員会が設置する開陽丸遺跡・引揚遺物保存活用検討委員会で委員を務める。専門は幕末期における日本の海軍建設。著書に『幕府海軍の興亡』（慶應義塾大学出版会、猪木正道賞受賞）、『幕府海軍』（中公新書）、共著に『維新の政治変革と思想』（ミネルヴァ書房）、『幕末維新史への招待』（山川出版社）、『つなぐ世界史 2 近世』（清水書院）など。

西山　孝樹（にしやま　たかき）

日本大学理工学部まちづくり工学科准教授。1986 年和歌山県橋本市生まれ。2013 年日本大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。同年日本大学理工学部まちづくり工学科助手、助教を経て現職。専門は土木史・観光計画。土木学会論文奨励賞「紀の川上・中流域における近世中期以前の灌漑水利の変遷に関する研究」、土木学会土木史研究発表会優秀講演賞「『徳川実紀』にみる江戸時代前中期の道路行政制度－「橋梁」に関する事項に着目して－」など多数の受賞歴がある。

松本　裕介（まつもと　ゆうすけ）

建築史家。東京大学工学系研究科建築学専攻博士課程にて日本建築史を研究後、日建設計などの設計事務所を経て、独立。住宅・医療施設などの設計を行っている。現在、都内各所で建築史講座の講師や歴史的建造物散策・史跡散策の会を主催している。著書に『東京建築百譚』、『東京∞散歩』（いずれも東京木材市場）など。

中央区文化財サポーター協会とは

中央区の養成講座修了生で構成されたまち歩きのボランティア団体で、歴史・文化・伝統ある中央区の史跡・旧跡・名所など、とっておきの見どころを楽しく、親切にご案内しています。

きほんの講座　①－５　定員 30 名

◆画廊へのご招待

主　題　中央区には多くの画廊があり、多種多様なアートを発信しています。この講座は、画廊に興味はあるけれど入りづらいと思っている方を対象に、ギャラリストによる様々な美術の楽しみ方のレクチャーと画廊めぐりを実施します。講座を通じて、画廊の魅力を体感していただきます。

企画・協力：銀座ギャラリーズ

講座番号　①－５

時　間：午後６時30分～８時
※第２回は午後２時～３時30分
場　所：築地社会教育会館ほか
※第２回は現地集合・現地解散
回　数：３回
受講料：900円

回数	日　程	講　義　内　容	講　師　名
第１回	1/13（水）	画廊のしごと	荻田　徳稔
第２回	1/16（土）	画廊めぐり	樫山 敦
第３回	1/20（水）	近代絵画～日本画と洋画の違い～	田畑　智 小川　桂

講　師　紹　介

荻田　徳稔（おぎた　めぐみ）

メグミオギタギャラリー代表。大学卒業後、ギャラリー勤務を経て、2007 年より銀座でメグミオギタギャラリーを創業する。ジャンルにとらわれず独創的な国内外の作家の作品を展示。

田畑　智（たばた　とも）

㈱門司ファインアートギャラリーギャラリスト。美術業界に 20 年以上携わり、日本の近代絵画を中心に様々な作品を見てきた。

小川　桂（おがわ　かつら）

㈱門司ファインアートギャラリーギャラリスト。2014 年に（株）青龍堂に入社し、10 年勤務。2024 年より現職の（株）門司ファインアートギャラリーに勤め、近代の洋画・日本画作品をメインに展覧会の企画運営に携わっている。

樫山　敦（かしやま　あつし）

㈱ギャルリ・シェーヌ代表取締役。長野県生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了（油画）。大学院の２年間のアルバイトを経て、2000 年よりガレリア・グラフィカにてギャラリーの仕事に携わる。2020 年のガレリア・グラフィカの閉廊に伴い、2021 年よりギャルリ・シェーヌを開廊。現代作家の個展開催を中心に、国内外の近現代作品を主に扱っており、また西洋古典版画も得意としている。「日常にアートを届けたい」をテーマに、画廊空間だけにこだわらない、幅広い場所での作品の展示を目指している。

銀座ギャラリーズは、銀座１丁目～８丁目の画廊約 40 軒による任意団体です。画廊の仕事や美術作品の魅力を知っていただき、気軽に足を運んでもらえるように定期的にイベントを開催しています。春：画廊の夜会　冬：Xmas アートフェスタ
銀座ギャラリーズが監修した初の書籍『26 歳会社員、絵画を買ってみた』（WAVE 出版）を 2023 年春に刊行。

きほんの講座　①－6　定員40名

託児付

（2/12を除く）

◆文楽の世界を楽しむ

主　題　日本の伝統芸能で、ユネスコの無形文化遺産でもある文楽（人形浄瑠璃）について、その魅力を５回にわたり紹介します。

文楽の歴史から、義太夫、三味線、人形、演目の見どころポイントや物語の背景などを解説。庶民の芸能である文楽を初心者でも分かりやすいよう、どういった視点から鑑賞するかを中心にお話しします。

第１～４回の講義では、イヤホンガイド解説者が映像や資料を使い、ぐっと身近に、わかりやすく楽しく文楽の世界へ誘います。

第５回では、文楽公演を実際に鑑賞します。

鑑賞当日は、同時解説イヤホンガイドをご利用いただけます。（900円程度・希望者のみ）

※はじめて受講される方が優先されます。

講座番号　①－6

時　間：午後2時～4時

※第5回:午後3時15分～6時5分(予定)

場　所：築地社会教育会館

※第5回はきゅりあん　大ホール（品川区大井町　駅）に現地集合・解散

回　数：5回

受講料：1,500円

観劇料：8,100円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	1/15（金）	文楽の歴史、約束事について	佳山　泉
第2回	1/22（金）	文楽の三業～太夫・三味線・人形～	
第3回	1/29（金）	名作演目をズバリ解説！	
第4回	2/　5（金）	観劇する演目の見どころを解説	
第5回	2/12（金）	観劇 【演目】 鎌倉三代記（かまくらさんだいき） （局使者の段、米洗ひの段、三浦之助母別れの段、高綱物語の段） 龍虎（りゅうこ）	―

講師紹介

佳山　泉（かやま　いずみ）

イヤホンガイド解説者。２００７年～１５年まで国立劇場文楽公演プログラムのあらすじを執筆。著書に『マンガでわかる文楽』（誠文堂新光社）、『ぶんらくの本』（共著、日本芸術文化振興会）。文楽巡業公演プログラム「文楽を覗いてみよう」コラム連載中。